

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2023年6月9日まで（2013年6月28日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型） 為替ヘッジなし	USエネルギーMLPファンド 受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	USエネルギーMLPファンド	主にエネルギーや天然資源に関連するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等を主要投資対象とします。 ・外貨建（米ドル建）資産について、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な組入制限	・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

米国エネルギーMLPオープン （毎月決算型）為替ヘッジなし

愛称：エネルギー・ラッシュ

第70期（決算日：2019年5月13日）

第71期（決算日：2019年6月13日）

第72期（決算日：2019年7月16日）

第73期（決算日：2019年8月13日）

第74期（決算日：2019年9月13日）

第75期（決算日：2019年10月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし」は、去る10月15日に第75期の決算を行いましたので、法令に基づいて第70期～第75期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

◎運用のポイント：クオリティの高いMLPに注目

当作成期については、クオリティの高いMLPに注目した運用を継続しました。MLPが分配金を支払う上で十分なキャッシュ・フローの裏付けがあることを示す「カバレッジ・レシオ」で見た分配金の安全性が高いこと、親会社の強固なサポートを得ていること、経営陣の執行力が高いことといった観点で、質の高いMLPに注目しました。また、天然ガス価格の低迷が長期化する可能性を考慮し、一部ポジションを調整しました。具体的には、米国北東部にエネルギー中流インフラ資産を保有するMLPについて、天然ガス生産鈍化の影響を受ける可能性があることから、組入比率を引き下げました。

世界的な低金利環境が継続するとの見通しが強まる中、高利回り資産であるMLPは魅力的な投資機会を提供しているものと考えます。

◎投資環境と今後の運用方針

米国では、ISM製造業景況感指数が低水準となるなど、製造業中心に景気の減速感が強まっています。こうした中、米連邦準備制度理事会（FRB）議長は景

気の底割れ回避に向けて追加利下げを辞さない姿勢をにじませており、投資家心理を下支えする要因となっています。当面は低金利環境が継続すると見られることから、利回り資産としてのMLPの投資魅力が注目される可能性があると考えています。これまでMLP各社は財務体質改善を優先し、一部MLPは分配金の引き下げといった対応を行ってききました。かつては設備投資の資金調達において株式市場への依存度が高かったMLPですが、今後は自前のキャッシュ・フローで設備投資資金を賄える状況にあり、株主還元などへの期待が高まっています。こうしたファンダメンタルズ（基礎的条件）の改善に比べて、MLP価格は割安な水準にあり、プライベート・エクイティなど機関投資家の資金がMLPに入りはじめています。当面は株式市場と連動して変動性が高い状況が続く可能性はあるといえますが、割安感が残るMLP市場は魅力的な投資機会を提供しているものと考えます。

当ポートフォリオでは、中流事業を手掛けるMLP等へ着目し、中でもキャッシュ・フローを見通しやすい銘柄群や天然ガス関連の銘柄群を選好する方針です。



ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー
プライベート・アセット・マネジメント・グループ
ラクリン・グループ
マネージング・ディレクター
イブ C. シーゲル



シニア・ヴァイス・プレジデント
パオロ R. フラッタロリ

上記は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 達 配 金 騰 落	中 率 中 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額 純 資 産 額
	円	円	%	%	%	%	百万円
46期(2017年5月15日)	6,789	30	1.3	—	—	99.1	58,692
47期(2017年6月13日)	6,175	30	△ 8.6	—	—	99.1	53,186
48期(2017年7月13日)	6,504	30	5.8	—	—	99.2	56,032
49期(2017年8月14日)	6,077	30	△ 6.1	—	—	99.2	51,676
50期(2017年9月13日)	6,205	30	2.6	—	—	99.3	52,026
51期(2017年10月13日)	6,372	30	3.2	—	—	99.5	51,840
52期(2017年11月13日)	6,008	30	△ 5.2	—	—	99.3	47,378
53期(2017年12月13日)	5,989	30	0.2	—	—	99.2	46,056
54期(2018年1月15日)	6,431	30	7.9	—	—	99.4	48,073
55期(2018年2月13日)	5,607	30	△ 12.3	—	—	99.0	40,650
56期(2018年3月13日)	5,357	30	△ 3.9	—	—	99.1	38,116
57期(2018年4月13日)	5,102	30	△ 4.2	—	—	99.1	35,636
58期(2018年5月14日)	5,493	30	8.3	—	—	99.1	38,027
59期(2018年6月13日)	5,854	30	7.1	—	—	99.1	39,755
60期(2018年7月13日)	5,818	30	△ 0.1	—	—	99.1	38,401
61期(2018年8月13日)	6,048	30	4.5	—	—	99.2	38,976
62期(2018年9月13日)	5,893	30	△ 2.1	—	—	99.2	37,181
63期(2018年10月15日)	5,713	30	△ 2.5	—	—	99.0	35,252
64期(2018年11月13日)	5,448	30	△ 4.1	—	—	99.1	33,197
65期(2018年12月13日)	5,228	30	△ 3.5	—	—	99.1	31,297
66期(2019年1月15日)	4,937	30	△ 5.0	—	—	99.0	29,127
67期(2019年2月13日)	5,176	30	5.4	—	—	99.1	30,300
68期(2019年3月13日)	5,257	30	2.1	—	—	99.1	30,367
69期(2019年4月15日)	5,477	30	4.8	—	—	99.0	31,374
70期(2019年5月13日)	5,188	30	△ 4.7	—	—	99.0	29,501
71期(2019年6月13日)	4,935	30	△ 4.3	—	—	99.0	27,875
72期(2019年7月16日)	5,138	30	4.7	—	—	99.1	28,848
73期(2019年8月13日)	4,466	30	△ 12.5	—	—	99.1	24,849
74期(2019年9月13日)	4,630	30	4.3	—	—	99.0	25,522
75期(2019年10月15日)	4,486	30	△ 2.5	—	—	99.1	24,728

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比	率
			騰 落 率						
第70期	(期 首)	円	%	%	%	%	%	%	%
	2019年4月15日	5,477	—	—	—	—	—	99.0	99.0
	4月末	5,356	△ 2.2	—	—	—	—	99.1	99.1
	(期 末)								
第71期	2019年5月13日	5,218	△ 4.7	—	—	—	—	99.0	99.0
	(期 首)								
	2019年5月13日	5,188	—	—	—	—	—	99.0	99.0
	5月末	4,988	△ 3.9	—	—	—	—	99.0	99.0
第72期	(期 末)								
	2019年6月13日	4,965	△ 4.3	—	—	—	—	99.0	99.0
	(期 首)								
	2019年6月13日	4,935	—	—	—	—	—	99.0	99.0
第73期	6月末	4,936	0.0	—	—	—	—	99.2	99.2
	(期 末)								
	2019年7月16日	5,168	4.7	—	—	—	—	99.1	99.1
	(期 首)								
第74期	2019年7月16日	5,138	—	—	—	—	—	99.1	99.1
	7月末	4,932	△ 4.0	—	—	—	—	99.0	99.0
	(期 末)								
	2019年8月13日	4,496	△12.5	—	—	—	—	99.1	99.1
第75期	(期 首)								
	2019年8月13日	4,466	—	—	—	—	—	99.1	99.1
	8月末	4,480	0.3	—	—	—	—	99.1	99.1
	(期 末)								
第76期	2019年9月13日	4,660	4.3	—	—	—	—	99.0	99.0
	(期 首)								
	2019年9月13日	4,630	—	—	—	—	—	99.0	99.0
	9月末	4,625	△ 0.1	—	—	—	—	99.2	99.2
第77期	(期 末)								
	2019年10月15日	4,516	△ 2.5	—	—	—	—	99.1	99.1

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

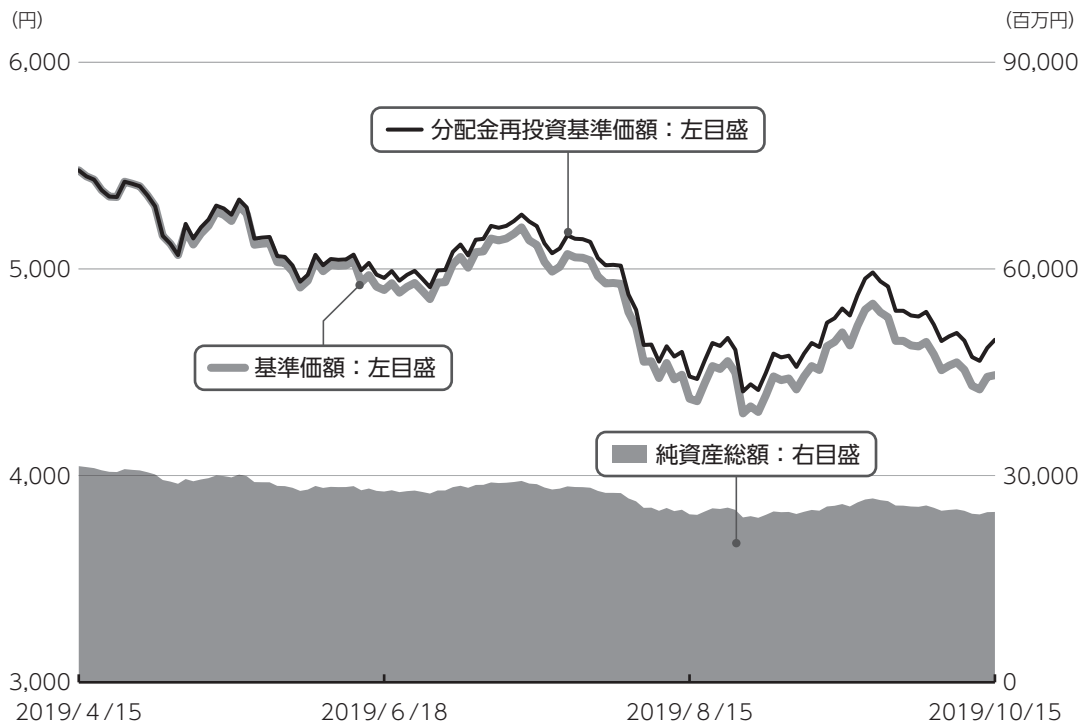
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第70期～第75期：2019年4月16日～2019年10月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第70期首	5,477円
第75期末	4,486円
既払分配金	180円
騰落率	－15.0%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ15.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

> 基準価額の主な変動要因

下落要因

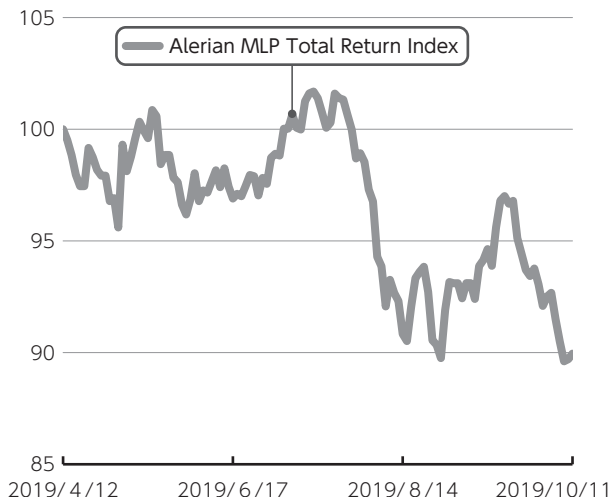
原油市場の下落や米中貿易摩擦への懸念などが重しとなり、MLP等の価格が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

米ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

第70期～第75期：2019年4月16日～2019年10月15日

投資環境について

MLP市況の推移（当作成期首を100として指数化）



（注）「Alerian MLP Total Return Index」は、Alerianの登録商標であり、Alerianからの使用許諾に基づき使用しています。

（注）現地日付ベースで記載しております。

為替市況

作成期を通してみると、米ドルは対円で下落しました。

米中貿易摩擦への懸念を背景とした投資家のリスク回避姿勢の強まりに加えて、米国の長期金利が低下したことなどを受けて、米ドルは対円で下落しました。

MLP市況

作成期を通してみると、MLP市況は下落しました。

当作成期の初めから2019年7月にかけてのMLP市場は、原油市場の下落や米中貿易摩擦への懸念などが重しとなり下落する局面があった一方、米国の長期金利が低下したことなどが下支えとなり、ほぼ変わらずとなりました。

その後、当作成期末にかけては、米中貿易摩擦への懸念や世界景気の先行き不透明感などを背景に、MLP市場は下落しました。

国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。

日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.01%程度で推移しました。

日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマ

イナス0.1%を下回る水準で推移しました。
 当作成期首から需給の緩みにより上昇基調で推移していましたが、2019年8月上

旬から当作成期末にかけて需給の引き締めから低下し、足下はマイナス0.29%程度で推移しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし

米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンド受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。
 外貨建（米ドル建）資産については為替ヘッジを行いませんでした。

ミッドストリーム・パートナーズなどの組入比率を高めとしました。

▶ マネー・プール マザーファンド

わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。

▶ USエネルギーMLPファンド

主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行いました。

ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行いました。

中流事業を手掛けるMLP等へ着目し、中でもキャッシュ・フローを見通しやすい銘柄群や天然ガス関連の銘柄群を選好しました。

その結果、天然ガス、天然ガス液の集積、処理、輸送などを手掛けるウェスタン・

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、分配金額を決定します。原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第70期 2019年4月16日～ 2019年5月13日	第71期 2019年5月14日～ 2019年6月13日	第72期 2019年6月14日～ 2019年7月16日	第73期 2019年7月17日～ 2019年8月13日	第74期 2019年8月14日～ 2019年9月13日	第75期 2019年9月14日～ 2019年10月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	30 (0.575%)	30 (0.604%)	30 (0.580%)	30 (0.667%)	30 (0.644%)	30 (0.664%)
当期の収益	27	26	30	26	29	25
当期の収益以外	2	3	—	3	0	4
翌期繰越分配対象額	1,245	1,242	1,244	1,241	1,240	1,236

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし

引き続き、米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンド受益証券を主要投資対象とします。外貨建（米ドル建）資産については原則として為替ヘッジを行いません。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

▶ USエネルギーMLPファンド

引き続き、主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行います。ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行う方針です。中流事業を手掛けるMLP等へ着目し、中でもキャッシュ・フローを見通しやすい銘柄群や天然ガス関連の銘柄群を嗜好する方針です。

▶ マネー・プール マザーファンド

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、

2019年4月16日～2019年10月15日

1 万口当たりの費用明細

項目	第70期～第75期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	29	0.587	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(9)	(0.190)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(19)	(0.381)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	0	0.006	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.000)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	29	0.593	

作成期中の平均基準価額は、4,872円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

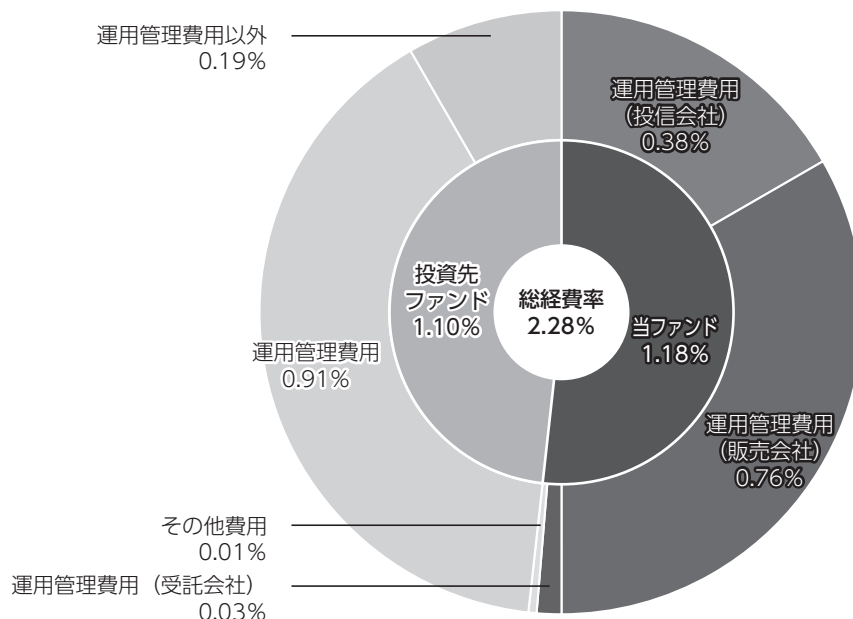
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.28%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.28
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.91
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.19

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月16日～2019年10月15日)

投資信託証券

銘	柄	第70期～第75期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	USエネルギーMLPファンド	2,301,271	9,772	4,678,355	19,915

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月16日～2019年10月15日)

利害関係人との取引状況

<米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし>

区 分	第70期～第75期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 2,159	百万円 670	% 31.0

<マネー・プール マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	第69期末	第75期末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		千口	千口	千アメリカドル	千円	%
	USエネルギーMLPファンド	59,393,254	57,016,169	226,012	24,504,231	99.1
	合 計	59,393,254	57,016,169	226,012	24,504,231	99.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなしの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第69期末	第75期末	
		口数	口数	評価額
マネー・プール	マザーファンド	千口 996	千口 996	千円 1,000

○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項	目	第75期末	
		評価額	比率
投資信託受益証券		千円 24,504,231	% 98.1
マネー・プール	マザーファンド	1,000	0.0
コール・ローン等、その他		469,690	1.9
投資信託財産総額		24,974,921	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（24,515,085千円）の投資信託財産総額（24,974,921千円）に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=108.42円			
-----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項	目	第70期末	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末
		2019年5月13日現在	2019年6月13日現在	2019年7月16日現在	2019年8月13日現在	2019年9月13日現在	2019年10月15日現在
		円	円	円	円	円	円
(A) 資産		29,718,770,087	28,079,455,844	29,117,044,861	25,064,643,094	25,739,005,145	24,974,921,195
	コール・ローン等	270,473,038	245,267,337	335,921,808	257,514,483	285,320,644	299,050,736
	投資信託受益証券(評価額)	29,218,525,931	27,596,821,160	28,599,115,970	24,618,216,538	25,275,905,565	24,504,231,371
	マネー・プール マザーファンド(評価額)	1,000,399	1,000,399	1,000,399	1,000,399	1,000,399	1,000,299
	未収入金	228,770,719	236,366,948	181,006,684	187,911,674	176,778,537	170,638,789
(B) 負債		217,593,808	204,103,399	268,129,665	215,545,466	216,294,011	246,668,779
	未払収益分配金	170,588,075	169,468,883	168,429,926	166,904,613	165,358,930	165,359,911
	未払解約金	19,676,387	5,775,993	69,679,994	24,157,898	26,197,571	54,859,213
	未払信託報酬	27,078,186	28,592,940	29,742,802	24,257,493	24,509,995	26,206,902
	未払利息	443	845	1,098	406	580	106
	その他未払費用	250,717	264,738	275,845	225,056	226,935	242,647
(C) 純資産総額(A－B)		29,501,176,279	27,875,352,445	28,848,915,196	24,849,097,628	25,522,711,134	24,728,252,416
	元本	56,862,691,968	56,489,627,844	56,143,308,919	55,634,871,080	55,119,643,543	55,119,970,429
	次期繰越損益金	△27,361,515,689	△28,614,275,399	△27,294,393,723	△30,785,773,452	△29,596,932,409	△30,391,718,013
(D) 受益権総口数		56,862,691,968口	56,489,627,844口	56,143,308,919口	55,634,871,080口	55,119,643,543口	55,119,970,429口
	1万口当たり基準価額(C／D)	5,188円	4,935円	5,138円	4,466円	4,630円	4,486円

○損益の状況

項 目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
	2019年4月16日～ 2019年5月13日	2019年5月14日～ 2019年6月13日	2019年6月14日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月13日	2019年8月14日～ 2019年9月13日	2019年9月14日～ 2019年10月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	185,461,535	178,456,680	183,877,711	171,986,571	164,142,860	168,995,176
受取配当金	185,587,940	178,728,602	184,744,146	172,378,975	164,703,739	169,521,307
受取利息	—	16,265	30,080	—	23,753	59,401
支払利息	△ 126,405	△ 288,187	△ 896,515	△ 392,404	△ 584,632	△ 585,532
(B) 有価証券売買損益	△ 1,629,987,964	△ 1,412,749,772	1,157,620,177	△ 3,716,057,912	929,228,799	△ 770,624,601
売買益	29,264,006,684	27,656,023,497	28,876,632,093	24,802,011,000	25,554,220,813	24,508,758,406
売買損	△30,893,994,648	△29,068,773,269	△27,719,011,916	△28,518,068,912	△24,624,992,014	△25,279,383,007
(C) 信託報酬等	△ 27,333,092	△ 28,860,411	△ 30,022,730	△ 24,495,559	△ 24,738,279	△ 26,452,258
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,471,859,521	△ 1,263,153,503	1,311,475,158	△ 3,568,566,900	1,068,633,380	△ 628,081,683
(E) 前期繰越損益金	△18,231,831,364	△19,682,948,316	△20,905,186,185	△19,510,303,340	△22,919,481,176	△21,826,151,682
(F) 追加信託差損益金	△ 7,487,236,729	△ 7,498,704,697	△ 7,532,252,770	△ 7,539,998,599	△ 7,580,725,683	△ 7,772,124,737
(配当等相当額)	(5,326,536,823)	(5,296,948,641)	(5,271,180,458)	(5,229,876,119)	(5,189,451,570)	(5,203,963,033)
(売買損益相当額)	(△12,813,773,552)	(△12,795,653,338)	(△12,803,433,228)	(△12,769,874,718)	(△12,770,177,253)	(△12,976,087,770)
(G) 計(D+E+F)	△27,190,927,614	△28,444,806,516	△27,125,963,797	△30,618,868,839	△29,431,573,479	△30,226,358,102
(H) 収益分配金	△ 170,588,075	△ 169,468,883	△ 168,429,926	△ 166,904,613	△ 165,358,930	△ 165,359,911
次期繰越損益金(G+H)	△27,361,515,689	△28,614,275,399	△27,294,393,723	△30,785,773,452	△29,596,932,409	△30,391,718,013
追加信託差損益金	△ 7,487,236,729	△ 7,498,704,697	△ 7,532,252,770	△ 7,539,998,599	△ 7,580,725,683	△ 7,772,124,737
(配当等相当額)	(5,326,536,823)	(5,296,948,641)	(5,271,180,458)	(5,229,876,119)	(5,189,451,570)	(5,203,963,033)
(売買損益相当額)	(△12,813,773,552)	(△12,795,653,338)	(△12,803,433,228)	(△12,769,874,718)	(△12,770,177,253)	(△12,976,087,770)
分配準備積立金	1,757,778,994	1,721,626,423	1,716,389,527	1,675,913,634	1,648,095,908	1,611,567,242
繰越損益金	△21,632,057,954	△22,837,197,125	△21,478,530,480	△24,921,688,487	△23,664,302,634	△24,231,160,518

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 57,284,275,427円

 作成期中追加設定元本額 1,496,057,906円

 作成期中一部解約元本額 3,660,362,904円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4486円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は30,391,718,013円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年4月16日～ 2019年5月13日	2019年5月14日～ 2019年6月13日	2019年6月14日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月13日	2019年8月14日～ 2019年9月13日	2019年9月14日～ 2019年10月15日
費用控除後の配当等収益額	158,128,428円	149,596,255円	179,761,579円	147,491,002円	160,429,632円	142,542,915円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	5,326,536,823円	5,296,948,641円	5,271,180,458円	5,229,876,119円	5,189,451,570円	5,203,963,033円
分配準備積立金額	1,770,238,641円	1,741,499,051円	1,705,057,874円	1,695,327,245円	1,653,025,206円	1,634,384,238円
当ファンドの分配対象収益額	7,254,903,892円	7,188,043,947円	7,155,999,911円	7,072,694,366円	7,002,906,408円	6,980,890,186円
1万口当たり収益分配対象額	1,275円	1,272円	1,274円	1,271円	1,270円	1,266円
1万口当たり分配金額	30円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金金額	170,588,075円	169,468,883円	168,429,926円	166,904,613円	165,358,930円	165,359,911円

○分配金のお知らせ

	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
1 万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなしが投資対象とする米ドル建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	USエネルギーMLPファンド
運 用 方 針	・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等*を主要投資対象とします。 *MLP等には、MLPの出資持分のほか、MLPと実質的に同様の経済的な特徴を有するLLC（リミテッド・ライアビリティ・カンパニー）の出資持分、MLPに投資することにより主たる収益を得る企業の株式、およびMLPに関連するその他の証券を含みます。 ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行います。 ※エネルギーや天然資源関連以外のMLP等にも投資を行う場合があります。 ・MLP等の組入比率は、原則として高位を維持します。 ・個別証券の投資割合は、取得時において純資産総額の12%以内とします。
投 資 顧 問 会 社	ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー* (Neuberger Berman Investment Advisers LLC)
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2013年6月28日
会 計 年 度 末	毎年12月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

*ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー（所在地：米国）は、ニューバーガー・バーマン・グループの一員であり、同グループの運用会社としての機能を有します。ニューバーガー・バーマン・グループは、1939年創業の独立系運用会社であり、米国、英国、香港等に運用拠点を置き、株式、債券、オルタナティブ資産運用等を世界の機関投資家や富裕層向けに提供しています。（2019年4月末現在）

USエネルギーMLPファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

2018年12月28日に終了する期間

(千ドルで表示)

収益

受取配当金	31,402
受取利息	115
収益合計	31,517

費用

運用受託報酬	(3,681)
管理者報酬	(552)
専門家報酬	(457)
法務、税務及びその他の費用	(221)
監査報酬	(98)
名義書換事務代行手数料	(54)
保管費用	(51)
受託者報酬	(14)
費用合計	(5,128)

投資純利益（損失）

26,389

投資売却に係る実現純利益（損失）

(14,548)

当期実現純利益（損失）

(14,548)

未実現評価益（評価損）の純変動：

- 投資	(85,109)
	(85,109)

法人税費用

(1,667)

運用による純資産の純増減

(74,935)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

2018年12月28日に終了する期間

(千米ドルで表示)

期首純資産	554,508
純投資利益（損失）(税額控除後)	24,722
投資に係る実現純利益（損失）	(14,548)
	(14,548)
未実現評価益（評価損）の純変動：	
- 投資	(85,109)
	(85,109)
追加設定	9,556
一部解約	(152,196)
再投資	33,000
支払分配金	(33,000)
	(142,640)
期末純資産	336,933

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2018年12月28日現在)

(千米ドルで表示)

銘柄	通貨	額面/数量	原価	時価	純資産比率
MARSHALL ISLANDS					
TEEKAY LNG PARTNERS LP	USD	416,000	16,298	4,493	1.33%
			16,298	4,493	1.33%
UNITED STATES					
ALLIANCE RESOURCE PARTNERS	USD	369,545	15,439	6,534	1.94%
ANTERO MIDSTREAM GP LP	USD	676,000	12,122	7,477	2.22%
ANTERO MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	960,000	26,874	20,573	6.11%
DCP MIDSTREAM LP	USD	100,000	3,450	2,641	0.78%
DOMINION ENERGY MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	1,160,000	30,588	21,460	6.37%
ENABLE MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	150,000	2,574	2,001	0.59%
ENERGY TRANSFER LP	USD	2,360,000	45,526	30,137	8.94%
ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	USD	1,276,000	37,653	30,471	9.04%
EQ GP HOLDINGS LP	USD	1,076,000	27,911	21,477	6.37%
EQM MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	704,415	49,811	29,607	8.79%
MAGELLAN MIDSTREAM PARTNERS	USD	125,000	7,746	6,977	2.07%
MPLX LP	USD	250,000	8,567	7,547	2.24%
NGL ENERGY PARTNERS LP	USD	200,000	3,007	1,888	0.56%
NUSTAR ENERGY LP	USD	776,000	39,713	15,970	4.74%
ONEOK INC	USD	564,000	30,366	29,881	8.87%
SHELL MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	180,000	5,407	2,939	0.87%
TARGA RESOURCES CORP	USD	560,000	27,633	19,606	5.82%
TC PIPELINES LP	USD	70,000	3,973	2,134	0.63%
WESTERN GAS EQUITY PARTNERS	USD	1,150,000	46,928	31,809	9.44%
WILLIAMS COS INC	USD	876,000	24,514	18,816	5.58%
			449,801	309,945	91.99%
TOTAL INVESTMENT IN SECURITIES			466,099	314,438	93.32%
CASH AT BANKS			7,318	7,318	2.17%
OTHER NET ASSETS				15,177	4.50%
TOTAL NET ASSETS			473,417	336,933	100.00%

マネー・プール マザーファンド

《第20期》決算日2019年7月16日

[計算期間：2019年1月16日～2019年7月16日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月16日に第20期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率					
	円	%	%	%	%	百万円	
16期(2017年 7 月14日)	10, 046	△0. 0	—	—	—	284	
17期(2018年 1 月15日)	10, 046	0. 0	—	—	—	707	
18期(2018年 7 月17日)	10, 044	△0. 0	—	—	—	210	
19期(2019年 1 月15日)	10, 043	△0. 0	—	—	—	159	
20期(2019年 7 月16日)	10, 042	△0. 0	—	—	—	147	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落 率				
(期 首)	円	%	%	%	%	%
2019年1月15日	10,043	—	—	—	—	—
1月末	10,043	0.0	—	—	—	—
2月末	10,043	0.0	—	—	—	—
3月末	10,043	0.0	—	—	—	—
4月末	10,042	△0.0	—	—	—	—
5月末	10,042	△0.0	—	—	—	—
6月末	10,042	△0.0	—	—	—	—
(期 末)						
2019年7月16日	10,042	△0.0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

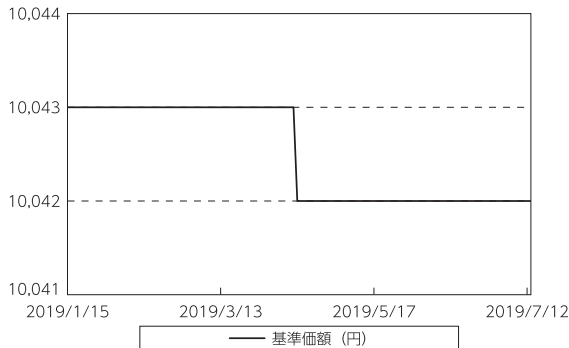
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用や信託報酬等コストが、基準価額にマイナスに作用しました。

●投資環境について

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.07%程度で推移しました。
- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。期首に、短期国債の需給の引き締めからマイナス0.28%程度まで低下していましたが、その後は徐々に上昇していき、足下はマイナス0.15%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。

○今後の運用方針

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年1月16日～2019年7月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,042円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年1月16日～2019年7月16日)

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 12,099,991	千円 12,099,991

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月16日～2019年7月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年7月16日現在)

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 99,999	% 67.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2019年7月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 99,999	% 65.5
コール・ローン等、その他	52,704	34.5
投資信託財産総額	152,703	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	152,703,334
コール・ローン等	52,703,391
其他有価証券(評価額)	99,999,943
(B) 負債	5,088,743
未払解約金	5,088,516
未払利息	114
其他未払費用	113
(C) 純資産総額(A-B)	147,614,591
元本	146,998,909
次期繰越損益金	615,682
(D) 受益権総口数	146,998,909口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,042円

<注記事項>

- ①期首元本額 158,505,343円
 期中追加設定元本額 32,230,081円
 期中一部解約元本額 43,736,515円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0042円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マネー・プール・ファンドVI	67,368,357円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドV(年2回決算型)	16,516,958円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,980,331円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド(年2回決算型)	2,639,752円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドX(年2回決算型)	2,252,879円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドIX(1年決算型)	1,994,907円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース(毎月決算型)	1,608,548円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
マネー・プール・ファンドIV	976,673円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	554,401円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
エマージング社債オープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円

○損益の状況 (2019年1月16日～2019年7月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 17,314
受取利息	381
支払利息	△ 17,695
(B) 保管費用等	△ 113
(C) 当期損益金(A+B)	△ 17,427
(D) 前期繰越損益金	681,414
(E) 追加信託差損益金	138,453
(F) 解約差損益金	△186,758
(G) 計(C+D+E+F)	615,682
次期繰越損益金(G)	615,682

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
U S 短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	63,697円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	28,349円
新興国公社債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,989円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円

欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）	4,979円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジなし）	4,979円
米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・円ファンド（毎月決算型）	999円
米国成長株オープン	996円
合計	146,998,909円